

2007年度決算説明会



東洋紡
取締役社長
坂元龍三

(1) 業績

- ・重点拡大事業で販売数量増も、原燃料高騰大で営業減益
- ・構造改革加速により、当期利益は47億円

	06年度	07年度	増 減		(08/2)予想
			金額	%	
売上高	4,267	4,314	+48	+1.1%	4,300
営業利益	304	271	-34	-11.0%	290
営業利益率(%)	7.1%	6.3%	-	-	
経常利益	253	210	-43	-16.9%	240
当期純利益	135	47	-88	-65.1%	45
EPS(円)	19.3	6.7	-	-	6.5
減価償却費	169	193*	+23	+13.8%	
研究開発費	104	109	+5	+4.3%	
設備投資	158	225	+67	+42.7%	
EBITDA	474	463	-10	-2.2%	

* うち残存簿価償却費負担増

(-17)

(2) 特別損失

事業再編、統廃合など構造改革前倒し

(億円)

		06年度	07年度
特別 損失	固定資産処分・売却損	27	23
	棚卸資産評価損	24	63
	構造改善関係費	27	71
	減損損失	8	15
	訴訟関連損失	8	20
	その他	23	70
	合 計	117	263

(3) 財務指標

有利子負債さらに圧縮。財務体質の改善前進

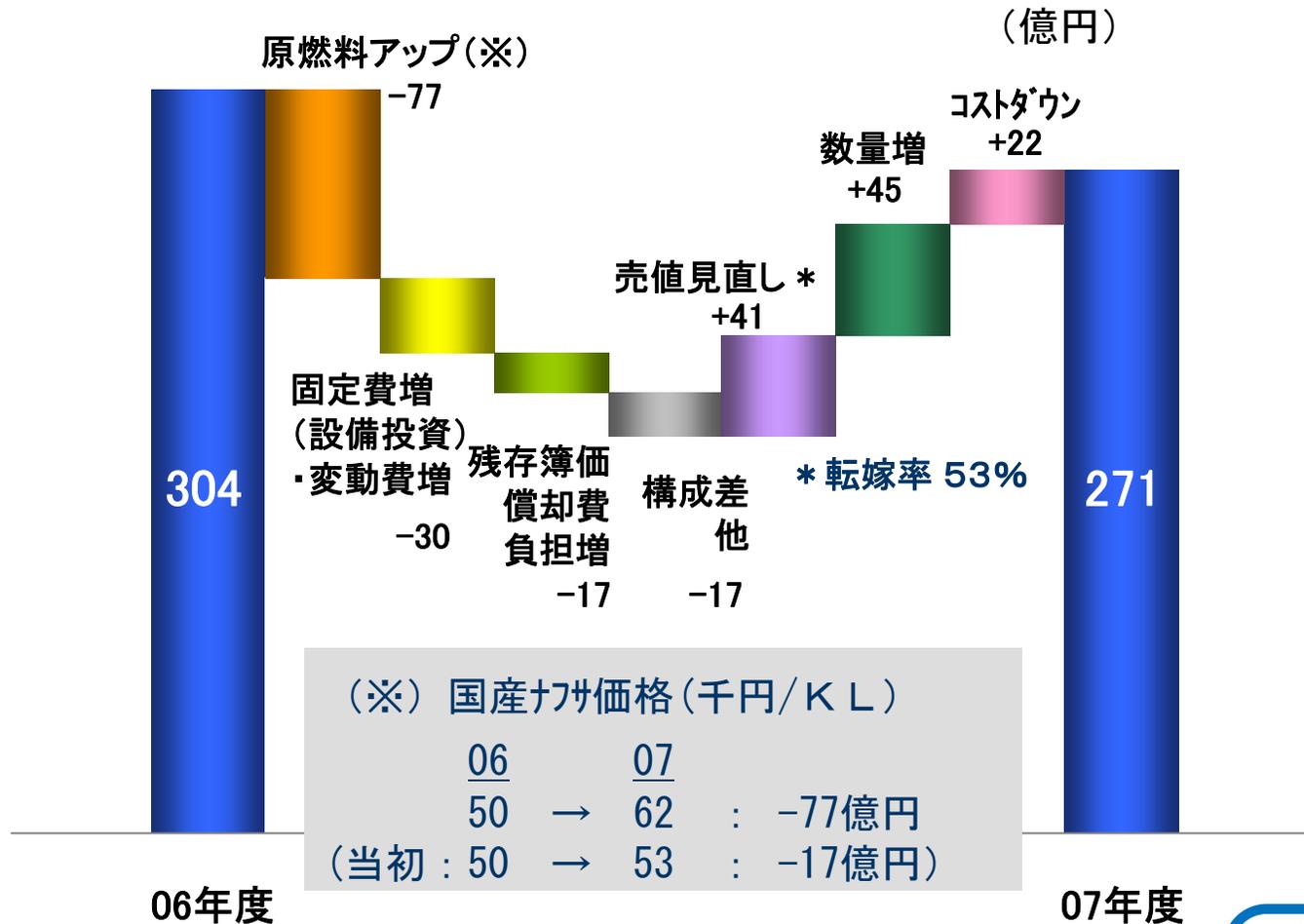
(億円)

	07/3末	08/3末	増減
総資産	5,132	4,945	-187
(営業利益ROA)	5.9%	5.5%	
自己資本	1,335	1,297	-39
(自己資本比率)	26.0%	26.2%	
有利子負債	1,942	1,788	-154
D/E レシオ	1.45	1.38	-
営業CF	271	233	-38
投資CF	-29	-102	-73
財務CF	-224	-179	+45

(4) 営業利益増減要因分析

【06年度→07年度】

重点拡大事業で数量増も、原燃料高騰の影響大



(5) セグメント別

スペシャルティ事業は、売上高拡大するも減益

(億円)

	06年度		07年度		増減		07年度予想 営業利益
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
フィルム・機能樹脂	1,246	153	1,346	137	+100	-16	150
産業マテリアル	744	59	761	55	+17	-4	61
ライフサイエンス	326	56	340	51	+13	-4	58
スペシャルティ計	2,316	268	2,447	244	+131	-24	269
衣料繊維	1,496	44	1,425	38	-71	-6	36
その他	454	25	442	26	-12	+1	20
消去・全社	-	-32	-	-37	-	-5	-35
合計	4,267	304	4,314	271	+48	-34	290

(6)セグメント別 ① フィルム・機能樹脂

液晶・光学用フィルム、自動車向け樹脂など出荷堅調
 価格転嫁は、包装用フィルムで一部実現も、機能樹脂で遅れ

	06年度	07年度			増減
		上期	下期	計	
売上高	1,246	656	690	1,346	+100
営業利益	153	73	64	137	-16
(営業利益率)	12.3%	11.1%	9.3%	10.2%	-
減価償却費	65	34	36	70	+5
使用総資本	1,262	-	-	1,300	+38
(営業利益ROA)	12.1%	-	-	10.6%	-

(億円)

● 工業用フィルム

2Qから急回復。増勢続く
 08/夏より新系列本格稼働
 マスキング用フィルム新設備も稼働

● 包装用フィルム

需要堅調。3Q後半から価格転嫁実現

● 機能樹脂

エンプラは自動車向けで数量拡大
 バイロンは電子材料向け需要堅調
 光機能材も回復

* うち残存簿価償却費負担増 (-6)

② 産業マテリアル

エアバッグ、機能フィルター、ダイニーマの拡大続く
 タイヤコードは原燃料高で苦戦

(億円)

	06年度	07年度		計	増減
		上期	下期		
売上高	744	373	388	761	+17
営業利益	59	27	28	55	-4
(営業利益率)	8.0%	7.3%	7.2%	7.2%	-
減価償却費	34	18	20	38	+4
使用総資本	795	-	-	785	-10
(営業利益ROA)	7.4%	-	-	7.0%	-

- **エアバッグ用基布**
 売上拡大も原料高で益率悪化
- **スーパー繊維「ダイニーマ」**
 需要旺盛。08/1から新設備稼動
- **機能フィルター・不織布**
 自動車、事務機器向け出荷堅調。
 環境関連も受注伸びる。

* うち残存簿価償却費負担増 (-3)

③ ライフサイエンス

医用膜が苦戦も、バイオ、医薬拡大

(億円)

	06年度	07年度		計	増減
		上期	下期		
売上高	326	163	177	340	+13
営業利益	56	26	25	51	-4
(営業利益率)	17.1%	15.9%	14.4%	15.1%	-
減価償却費	25	14	18	32	+7
使用総資本	368	-	-	360	-8
(営業利益ROA)	15.2%	-	-	14.3%	-

● **医用膜**
競争激化により出荷伸び悩む

● **バイオ、医薬**
血糖値測定用酵素は堅調持続
診断システム新製品好調
医薬新棟順調に稼動

● **アクア膜**
ラービグ向け出荷完了
大型案件(シュケイク)受注

* うち残存簿価償却費負担増 (-2)

④ 衣料繊維

構造改革を計画前倒しで実行
資産効率重視の経営徹底

(億円)

	06年度	07年度			増減
		上期	下期	計	
売上高	1,496	724	701	1,425	-71
営業利益	44	20	18	38	-6
(営業利益率)	2.9%	2.7%	2.6%	2.7%	-
減価償却費	26	15	16	31	+5
使用総資本	1,331	-	-	1,263	-68
(営業利益ROA)	3.3%	-	-	3.0%	-

● 機能衣料

中東向け織物輸出が好調持続

● 衣料ファイバー

構造改善効果

● アクリル繊維

価格転嫁図るも、減産等で減益

* うち残存簿価償却費負担増 (-5)

(1) 業績予想

逆風下、減益幅を最小限に食い止める

(億円)

	07年度		08年度予想		増減	
	上期		上期		金額	%
売上高	2,134	4,314	2,150	4,350	+36	+0.8%
営業利益	139	271	125	250	-21	-7.7%
営業利益率(%)	6.5%	6.3%	5.8%	5.7%	-	-
経常利益	115	210	100	200	-10	-5.0%
当期純利益	55	47	40	100	+53	+112.9%
EPS(円)	7.9	6.5	5.7	14.3	-	-
減価償却費	92	193	110	220	+27	+14.1%
設備投資	92	225	110	200	-25	-11.1%
EBITDA	231	463	235	470	+7	+1.4%
為替レート(円/US\$)		114		100		
国産ナフサ価格(千円/KL)		62		72		影響額 -60億円

(2) セグメント別内訳

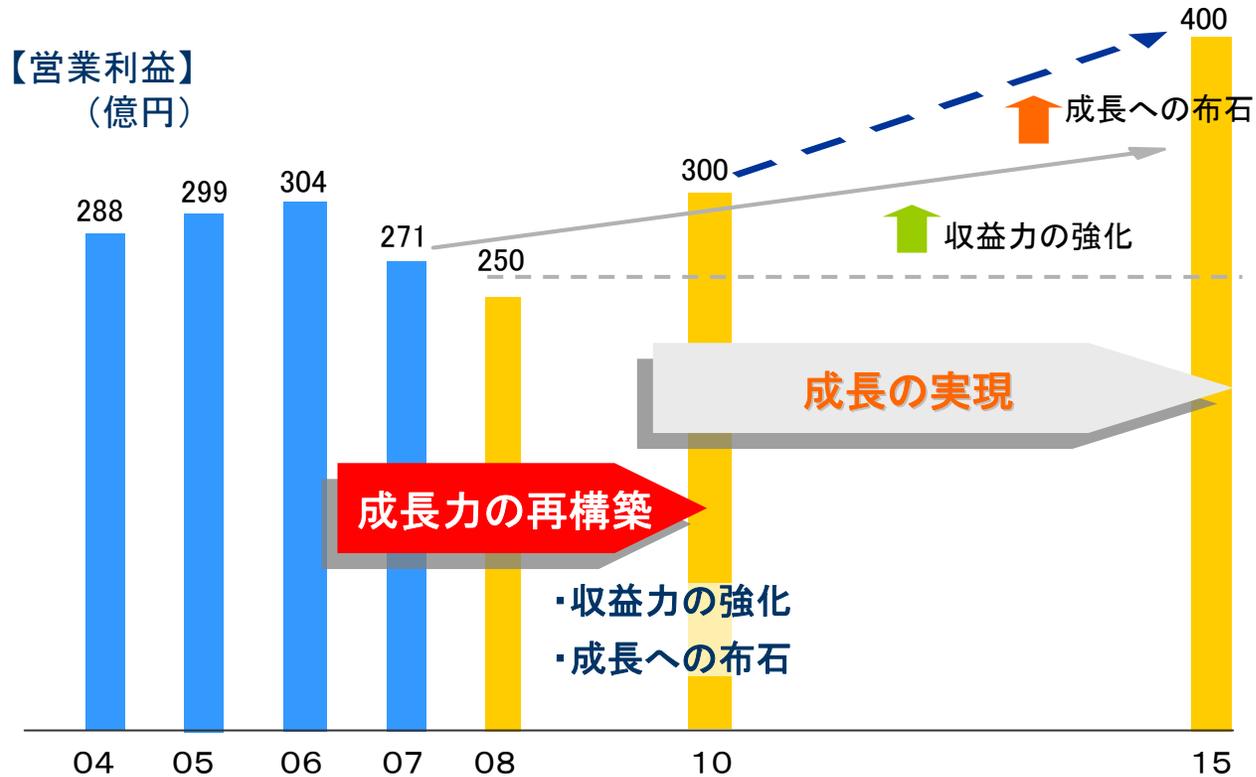
スペシャルティ事業の拡大持続

(億円)

	07年度		08年度予想		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
フィルム・機能樹脂	1,346	137	1,450	130	+104	-7
産業マテリアル	761	55	820	55	+59	+0
ライフサイエンス	340	51	360	48	+20	-3
スペシャルティ計	2,447	244	2,630	233	+183	-11
衣料繊維	1,425	38	1,320	32	-105	-6
その他	442	26	400	22	-42	-4
消去・全社	-	-37	-	-37	-	+0
合計	4,314	271	4,350	250	+36	-21

(3) 基本的考え方(位置づけ)

「成長力の再構築」に注力し、2010年以降に成長加速

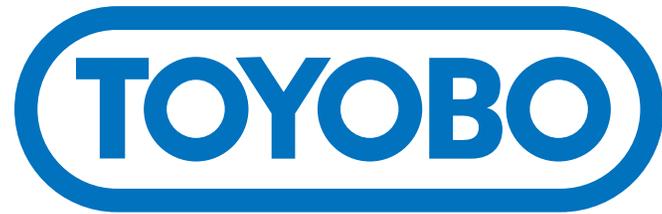


事業ポートフォリオ改革

本資料取扱い上のご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡績株式会社



All Rights Reserved